作者胎内十月圖

浦油門　繪喜版

逍遙文庫
文庫6
984

文庫6
984

戯作者なるゆ羨しかりぬるかのいはゆる人あり絲瓜の皮乃やうなり
思ふ詩歌連俳古支来歴何でもよろづと十九文やさ。
なるべくハアとて扶ぶとほひあやまりくくり弱く實學者ハ
出あひ一言も流しふるれど弗のごく尻尾をまんく逃げて
べし。予此場と悟らざるハいのごく越國屋の番頭范兵備があ成
慕ひ編蝙羽織ぐ身追き。上田縞の西施とふ丸油堀ハ棹
さして齊陶の出店ハ隠屋せんと欲もとて板元の越王あく
ゆるされば擾なく作者の腹ハくやれ耻をあくく出しあ。
此草帝をなるくくく遂ハ絲瓜の皮ありて生涯人の跟を
あふべし。嗚呼是非もなきさ哉

享和四年甲子初春

醒世老人
山東京傳戯誌

桐屋
南無因果地蔵尊　大願成就
賽銭

二月め

三月め

作無理姫来

作無理姫茶番

享駄天

東疾鬼

作者胎内十月圖中

通油町　鶴喜版

三月め

四月
エ面菩薩

五月

六月ゆ

七月め

八月ぢ

作者胎内十月圖 下

通油町 鶴喜版

九月め

大和田

十月め

案前
案後

實虛散

○教訓 三匁 ○面皮 十匁
○麁向 一匁 ○工夫 一匁
○案思 一匁 ○地口 三匁
○故友附 ○小文才 三匁
○智惠 三匁 ○画意 三匁
○氣根 十匁 ○横好 一匁

以上

十二味硯の水一ぱい
一ぱいふくと小雅ひとつぎ入
案ずるつ孫のごとく

屁草紙臭草帝
京傳店

山東京傳戲作
讀書丸
一つゝ代三文ト
賣弘所 京傳店
小児無病丸
一包代百十二文
半包代五十六文

早稲田大学図書館
011688991538